

3+3=6、 $3 \times 3 = 9$ 、4+4=8、 $4 \times 4 = 16$ 、…。 \times の行為は、話し合う内容を指數関数的に増やしていくことができます。会話における多彩な「 \times の技術」とは、つまるところ、相手に問い合わせ方によって、その場の話の中身がどんどん広がり、ふくらんでいきます。

技術を磨くには、スポーツや料理や職人技やかつての剣の修行のように、日々意識をした練習あるのみです。宮本武蔵は、鍛錬と書いています。日頃、私たちは当たり前に無意識に誰かと会話をしていますが、どれくらい、お互いがより関係を深め、新たなことに気づき合う（つまり学習価値の高い）会話をしているでしょうか？

(1)と(2)を合わせれば、その要点は、「問い合わせ合う平等な会話」となります。これを、「等話」と名づけて、コロナ禍の中で、人間の歴史における会話の意味を考え深めて提起しましたが

業のうちあわせや会議などは、すぐ本題に入るといいます。大切なのは、本題の話し合いの中で、事務的ではなく、チームで仕事をしていくお互いの信頼関係をも育んでいく話し合いができる人間力でしょし、それが社会人・大人に求められる会話の力なのではないでしょうか？

また、ファシリテーションという、ファシリテーショングラフィックという板書表現法もあります。皆さんのが話し合いをしているところの脇でファシリテーショングラフィックを描いてくださっている方がいた場合、一般的には、話し合いの最中にそれを見ながら話し合いが展開していくというよりも、話し合いが終わつたあとで、話し合いのプロセスを描いてくれた「話し合いの見える化」（グラフィック）を見て、話し合いの中身をぶりかえるという使われ方をしています。そこで見る時間は、多くて5分～10分くらいでしょう。文字による議事録の視覚化としてグラフィックレコーディング

会話における多彩な「人の技術」とは、つまるところ、相手に問い合わせ方によって、その場の話の中身がどんどん広がり、ふくらんでいきます。

技術を磨くには、スポーツや料理や職人技やかつての剣の修行のように、日々意識をした練習あるのみです。宮本武蔵は、鍛錬と書いています。日頃、私たちは当たり前に無意識に誰かと会話をしていますが、どれくらい、お互いがより関係を深め、新たなことに気づき合う（つまり学習価値の高い）会話をしているでしょうか？

(1) と (2) を合わせれば、その要点は、「問い合わせ合う平等な会話」となります。これを、「等話」と名づけて、コロナ禍の中で、人間の歴史における会話の意義を考え深めて提起しましたが

「話し合いの見える化」で最も重要なことは、その話し合いをそのまま皆さんには、会議の議事録はどちら、話の内容を発展させたり、新しくて見えていたところを見ながら、話し合っているメンバーがそれを見ながら、話の内容を発展させたり、新たな発見をしていくための、話し合いと一体になった（つまり、耳と口と目が一体になった）使われ方でしょう。企画開発会議などでは、発言者がホワイトボードに書きながら説明するというような使い方をします。わざわざ、あとで確認するためのファシリテーショングラフィックを誰かに依頼することはしません。Facebookの創業者の伝記には、大学の寮の狭い部屋にホワイトボードを持ち込んで、それにアイデアを書きながら、部屋の同僚とFacebookのねこになるシステムづくりに没頭したとあります。また、パソコンやインターネットの開発者の歴史をまとめた『インベーターズ I・II』（ウォルター・アイザックソン著、

増えるでしょ。

会話の平等性は、これまで日本社会（もしかすると世界中の）人間社会では、学校教育や家庭教育で皆等しくちゃんと学んできています。そういうことはなかつたように思います。それによる問題（会話の不平等性を生む、相手への思いやりの欠如、人間関係の不和、精神的な悩みなど）は、長生きするようになつた現代社会では、いろいろな場面で出てきています。何もの心がけなければ、これからさらに

〔等話〕、会議も話し合い学習もすべては会話ですので、人と人との会話の基本原理が、ファシリテーションの基本になると考えます〔等話〕14章「会議が変われば社会が変わる」。

井口耕一訳、講談社、2019年)には、「デジタルに馴染むすべてのイノベーション(革新)は個人。ブレイディではなく、チームワークによる産物だ」ということが具体事例で記されています。つまりは、話し合い、会話によって産み出されたということです。

また、「見える化」の道具として、付箋紙もよく使われますが、そもそも、20センチくらい離れた自分でが読める大きさの文字で書いた付箋紙をホワイトボードに貼つて、2メートルくらい離れたところから皆で見ても、「裸の王様」のように、本当は内容の文字が読めないのにわかつたような雰囲気になっている状況です。

先に学習変容と述べましたが、人と話すこと・会話は、癒されたり、ほつとしたり、合意を得たり、アイデアを得るだけでなく、自分の考え方や態度を変革成長させ、行動を促してもらいます。親子の関係から始まり、「人のふりみて、わがふり直す」と言われるよう、お互いに人こそが最大の教科書で

思いやりの平等な会話による「育み合う関係」です。

けようとなれば、若い世代が活躍する機会を奪うことになり、社会の世代循環が滞ります。

今から20年前、2002年に筆者が上梓した『駄菓子屋楽校－小さな店の大きな話・子どもがひらく未来学』（新評論）には、男女共同参画だけでなく、老若も合わせた老若男女共同参画社会の像を提起しました。その構想を思い描き出したのは、駄菓子屋のおばあちゃんと幼い子どもとの

きた夫にとつて、急に、ヨコ関係の平等な会話ができるかと言えば、これもあらためて「鍛錬」する時間と心がけが必要になるのかもしれません。それができずにいづまでも職場（組織社会）に居続ける

す。話し合い学習の最終的な事業評価は、その後に、話し合われた内容がどう生かされたかや、また自分自身にどう生かされたかということでしょう。なかなかそれを測ることができませんし、測ろうとしてこなかったことも課題です。

以下の文章は、今年度前期の筆者の授業の中で学生どうしの話し合い活動を多く入れた授業（社会教育計画論）後に、自分が授業を受ける前と後でどのように変わったかをふりかえた学生の記述の一部分です（3名、下線は変化を汲み取れると考えて筆者が引いた箇所）。

いう目的であれば、楽しいアイスブレイクの時間をとることも目的にかなうでしょうが、集まつた人たちと課題解決のための話し合いをすることが目的であれば、その話し合いにこそ最大時間をさかなければなりませんので、アイスブレイクなどをしている時間ももつたいないでしょう。忙しいＩＴ企

傍観者ではなく、わがこととして当事者になるには、自分自身が当事者として自己をとらえ変化させていく学習変容が必要です。進行役が心尽くすことは、その場での話し合いの体験を通した参加者の学習変容と言えます。

ファシリテーションというと、参加者の気持ちをほぐすアイスブレイクということばもよく言われます。参加者どうしの親睦を、クリエーションを通して深めると

翌日には忘れさられてしまうので、その後の自身の自己変容につながるような本質的な効果に、進行役が参加者全員に意識づけしていくことこそ、進行役の肝なのでないでしょうか。ひとごとの

写真1 講座企画研修2回目
(2022年9月9日、仙台市生涯学習支援センター、細貝和子社会教育主事担当)

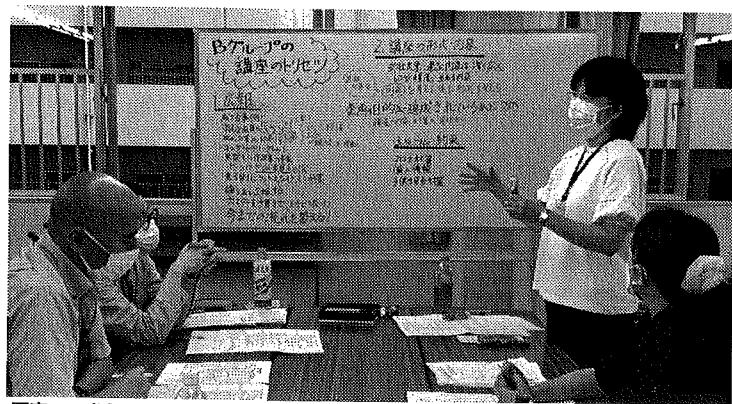


写真2 参加した各市民センター主事などがお互いの問題意識

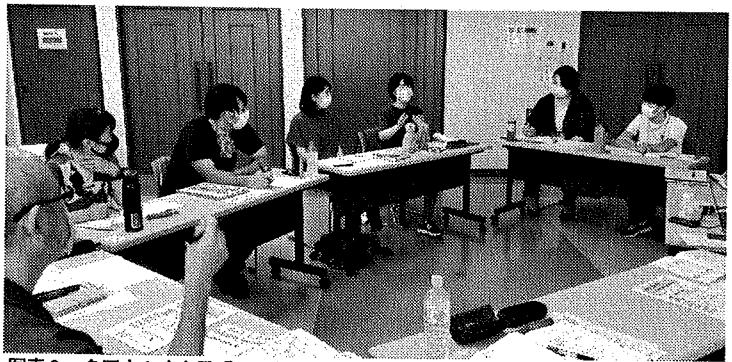


写真3 角田市かく大學「みんなで集まる場づくり学部」1回目
(2022年9月10日、角田市角田自治センター、佐藤克宏社会教育主事担当)

「どうも生きる必要があるのか?」。人間生活として生きていくうえで最も大切なその本質を学ぶうえでも、話し合いを行う事業の事後評価は、その場で満足度のアンケートをとるだけでなく、もつと工夫する余地もあると思います。

「私はこの授業を受ける前までは、アイデアを出すまでの過程、相手への理解、具体的なアイデアの内容、これらの3点を全く重視していなかつた。これまで私は思いつきでアイデアを出すようなことをしていた。この授業を受けて

ました。しかしこの授業では話す
機会が何度もあつたため、徐々に人前で発言することに慣れていきました。この授業で発言の機会が増えしていくことが自信につながり、何事にも意欲的に取り組むようになりました。最近では地産地消のお店に行つて店主さんとお話をしたり、趣味でゴルフを始めたなど、この授業を受ける前より積極的に行動することが多くなり、自分でも良い方向に変わつてきていると実感しています。家でゴロゴロするよりも、人とのつながりを大切にして新しいことに挑戦することのほうがとても楽しいと学んだため、これからも時間の有効活用を大切にして充実した生活を送りたいです。」

を産み出すことができるか、その進行役を担う場面のある皆さんにとって、ファシリテーションの基本をあらためて考えることは意義あることではないでしょうか？この原稿に提起した2つの視点を、先週末、ちょうど、写真（1）～（3）の話し合いの場面でも参加者皆さんに提案したところです。せつかり、時間もございませんが、

かつた。相手への理解を深めることで相手のニーズに合つたよりいいアイデアを生み出すことができることを学ぶことができた。

また、私はアイデアの具体的な内容もあまり考えてこなかつた。具体的的というより単語のような形

いなければ、将来適当に思いついたアイデアを出していただろう。自分で思うほど、真摯に取り組んでいなかつたことに気づいた例えるなら、中学や高校の時のとうな、ちゃんとしていないふんとりとした考え方でグループワークを行うような態度が自身の中でずっと続いていた。会社に就職し社会に出てもこのふんわりした考え方をもつていたら、相手のためにもならないし、自身の成長にもつながらないと気づくことができ本当に良かったと思う。そして相手を理解しようとすることもアイデアを出す際にしていなかつた。相手の要求している問題点のみに固執し、相手がどのような事業などを行っているかも調べようと思つたこともなく、全く頭にな

方々が、お互いに「あなた方との時間に話し合ったおかげで、その後の自分に何か活かすことができた」となつてくれるのを願いながら。

【浜人山みどり】主催の七ヶ浜の
湊浜ビーチクリーン活動に参加し
てきました。この活動の目的は、
砂浜を綺麗にすることでしたが、
この先には、活動を通した地域へ
の想像と学びがありました。この
活動をしたことで、活動を見た人
もごみを捨てることが減るのであ
る。

でしかアイデアを生み出すこと impossible できず、ほとんど仲間に投げやられの状態だったことに気がついた。具体的に計画するようなアイデアを出せなければ、結局は自分もアイデアを出したということにはならないということを理解できた。今後、私が社会に出て、会社などで何か案を出してほしいと頼まわれた際は、この3つのポイントを忘れずにアイデアを生み出していきたい。」

11月は、筆者が、オンラインで
限られた時間の中で同世代・多世
代との平等なおしゃべりを大いに
楽しもうという「オンラインおし
やべり」を計画しました。11月7
日、11月28日、どちらも月曜日、
16・30～17・30です。参加ご希望
の方は、松田までメールください。
多世代交流論の体験学習として、
約100名以上の大学生が参加し
ます。

してみるつもりです。10月には社会福祉関係の職員研修（山形県社会福祉協議会主催新任職員研修、明るい長寿社会づくり推進機構主催中堅職員研修）でも、等話を予定しています。

か。「人とつながる」、「人とともに生きる」などと、当たり前によく言われます。「なぜ、人とつながる必要があるのか?」、「なぜ、人

これらは自分自身の態度を革新させ行動化を促した例です。ランティア活動でも、地域づくらでも、毎日の仕事や家事でも、名くは、話し合うことが目的ではなく、活動によって何かをめざすことが目的でしょう。それが、自分が一人の考え方よりも、他者との話し合いや会話によって、人から示唆を得て人から学ぶことで自分をよりかえり、変革していくという行动化を促すのではないでしょ

ないかと思います。そして、綺
になつた砂浜で住民や多くの人
ちが気持ちよく、過ごせるよう
なるでしようし、環境保全に対
する意識も向上すると思います。
のような活動に参加することで
自分の学びが社会の豊かさにつ
がつているのではないかと思いま
した。」